

幼稚園経験の効果に関する心理学的研究 I. 保育期間の差の吟味

安 岡 龍 太

問 題

さきに、中央教育審議会が当面の具体策として①父母からの要望に応じ、市町村に幼稚園設置を義務づけること②幼稚園・保育所を充実させるために、国が大幅な財政援助を行うことを結論づけたことは、幼児教育の重要性がさらに認められたことを意味すると思われる。しかしながら、この結論は同時に幼児教育の重要性が実証的に裏づけられたということの意味しない。なるほど、いままでに、種々の調査法や実験法によって保育効果の研究は行われてはきたが¹⁻²⁾、幼児教育の目標の視点からの研究はすくないようである。

いうまでもなく、保育活動は間断なく行われているので、なにか問題があったときだけ管理 (management) するのでは、本当の意味の管理とはいえないであろう。まさに、管理とは①目標を設定してプランをたて (plan) ②これを実施し (do), ③保育活動を目標に照して評価し (see), ④これがつぎの計画作成に役立つというように、計画、実施および評価の三つの過程がその間に断絶なく循環することなのである³⁻⁴⁾。保育効果が教育課程の管理の成否いかにかかっていると考えると、著者はさきにこのマネジメント・サイクルの観点から幼稚園における教育課程管理の問題をとりあげた⁵⁾。著者の保育効果の研究も究極的には教育目標の観点からの研究を目指すものであるが、今回の報告は調査結果の一部の集計に基づいて保育期間の差による保育効果を検討しようとするものである。

手 続

質問紙法の構成

著者は数年前から卒園児の母親に「お子さまが幼稚園生活をしてからどのように変わったか？」の質問をして回答を自由記述してもらって収集した項目に村山貞雄の研究²⁾からの項目を加えてつぎの185項目からなる質問紙を作成した。

保育効果に関する調査のお願い

記入年月日：昭和44年 月 日
 子どもの生年月日：昭和 年 月 日
 満年齢： 才 月
 性 別：男 女
 記入者：父 母 その他（○でかこむ）
 3年保育：1年目・2年目・3年目・
 2年保育：1年目・2年目
 1年保育：（○でかこむ）

お子さまが幼稚園に入園されてから、お子さまの行動・態度・性格などにいろいろの変化が起ったことと思います。お手数でも、つぎの各問について、「はい」か「いいえ」のどちらかを○で囲んでください。どうしても答えられないときは×印を○で囲んでください。この調査は、幼稚園教育を一層充実したものにするための基礎資料にいたしますので、ありのままにお答えください。

- | | | | |
|-----------------------|----|-----|---|
| 1. 顔色のつやがよくなった。 | はい | いいえ | × |
| 2. 友だちとよく遊ぶようになった。 | はい | いいえ | × |
| 3. 文字に興味をもってきた。 | はい | いいえ | × |
| 4. ひとりで便所へいけるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 5. 遊んだあと片づけるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 6. 時間の観念がついた。 | はい | いいえ | × |
| 7. 理屈っぽくなった。 | はい | いいえ | × |
| 8. 人に挨拶するようになった。 | はい | いいえ | × |
| 9. よく考えるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 10. 性格が明るくなった。 | はい | いいえ | × |
| 11. ひとりで衣服を着れるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 12. 想像力が豊かになった。 | はい | いいえ | × |

13. 意志がはっきりしてきた。	はい	いいえ	×
14. 音感がよくなった。	はい	いいえ	×
15. 食欲がでてきた。	はい	いいえ	×
16. 知識欲がでてきた。	はい	いいえ	×
17. 納得するまで聞くようになった。	はい	いいえ	×
18. 劣等感がでてきた。	はい	いいえ	×
19. 親に反抗的になった。	はい	いいえ	×
20. 話題が豊富になった。	はい	いいえ	×
21. 曜日がわかるようになった。	はい	いいえ	×
22. 社交性がでてきた。	はい	いいえ	×
23. 根気づよくなった。	はい	いいえ	×
24. 判断力がついてきた。	はい	いいえ	×
25. よく質問するようになった。	はい	いいえ	×
26. 小さい者をいたわるようになった。	はい	いいえ	×
27. 「だから、だって」と弁解するようになった。	はい	いいえ	×
28. 甘えなくなった。	はい	いいえ	×
29. 絵を描くことが多くなった。	はい	いいえ	×
30. 「ありがとう」がいえるようになった。	はい	いいえ	×
31. おとなしくなった。	はい	いいえ	×
32. 早寝・早起きの習慣がついた。	はい	いいえ	×
33. 一つの事を最後までするようになった。	はい	いいえ	×
34. 夕方遅くまで遊ぶようになった。	はい	いいえ	×
35. 父母のいうことをきかなくなった。	はい	いいえ	×
36. 内向的になった。	はい	いいえ	×
37. 思いやりがでてきた。	はい	いいえ	×
38. けんかの回数が多くなった。	はい	いいえ	×
39. お金を決めて使うようになった。	はい	いいえ	×
40. 返事がよくなった。	はい	いいえ	×
41. 言葉が悪くなった。	はい	いいえ	×
42. いろいろのことを覚えるようになった。	はい	いいえ	×
43. 時間を守るようになった。	はい	いいえ	×
44. 外で遊ぶようになった。	はい	いいえ	×
45. 気持が安定してきた。	はい	いいえ	×
46. 責任感が強くなった。	はい	いいえ	×
47. 大人の話しがわかるようになった。	はい	いいえ	×
48. 注意力が散漫になった。	はい	いいえ	×

- | | | | |
|-------------------------------|----|-----|---|
| 49. 男の子(女の子)らしくなった。 | はい | いいえ | × |
| 50. 意地悪になった。 | はい | いいえ | × |
| 51. 競争心がでてきた。 | はい | いいえ | × |
| 52. いたずらをしなくなった。 | はい | いいえ | × |
| 53. 気が荒くなった。 | はい | いいえ | × |
| 54. 夜中に目を覚まして泣くようになった。 | はい | いいえ | × |
| 55. 口返答をするようになった。 | はい | いいえ | × |
| 56. 食事の量が少なくなった。 | はい | いいえ | × |
| 57. 買い食いを覚えた。 | はい | いいえ | × |
| 58. 交遊範囲が広がった。 | はい | いいえ | × |
| 59. 物をよく観察するようになった。 | はい | いいえ | × |
| 60. ききわけがよくなった。 | はい | いいえ | × |
| 61. 約束をよく守るようになった。 | はい | いいえ | × |
| 62. 運動神経が発達した。 | はい | いいえ | × |
| 63. いばるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 64. 家の中での遊びが嫌いになった。 | はい | いいえ | × |
| 65. 男の子(女の子)に対して恥ずかしがるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 66. 性に関心をもつようになった。 | はい | いいえ | × |
| 67. 自分でやろうとする気持がでてきた。 | はい | いいえ | × |
| 68. 留守番ができるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 69. 元気になった。 | はい | いいえ | × |
| 70. 無駄使いをしなくなった。 | はい | いいえ | × |
| 71. 嘘をつくようになった。 | はい | いいえ | × |
| 72. 発表力がついてきた。 | はい | いいえ | × |
| 73. 園から帰ると怒りっぽくなった。 | はい | いいえ | × |
| 74. 自信がついてきた。 | はい | いいえ | × |
| 75. おませになった。 | はい | いいえ | × |
| 76. リズム感が発達した。 | はい | いいえ | × |
| 77. 独占欲が強くなった。 | はい | いいえ | × |
| 78. 人みしりをしなくなった。 | はい | いいえ | × |
| 79. 本に対して興味をもつようになった。 | はい | いいえ | × |
| 80. 無気力になった。 | はい | いいえ | × |
| 81. 礼儀が正しくなった。 | はい | いいえ | × |
| 82. 生活が規則正しくなった。 | はい | いいえ | × |
| 83. 家で簡単な手伝いをするようになった。 | はい | いいえ | × |
| 84. きまりを守るようになった。 | はい | いいえ | × |

- | | | | |
|---------------------------------|----|-----|---|
| 85. 言葉の数が豊富になった。 | はい | いいえ | × |
| 86. 製作をすることが多くなった。 | はい | いいえ | × |
| 87. 注意力が集中するようになった。 | はい | いいえ | × |
| 88. 自分の気持を抑える(自制心)ことができるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 89. 積極的になった。 | はい | いいえ | × |
| 90. 衛生上よい習慣がついた。 | はい | いいえ | × |
| 91. 動植物に興味をもつようになった。 | はい | いいえ | × |
| 92. 神経質になった。 | はい | いいえ | × |
| 93. 病気にかからなくなった。 | はい | いいえ | × |
| 94. ハサミを使うのが上手になった。 | はい | いいえ | × |
| 95. 友だちと遊んだことを家族に話すようになった。 | はい | いいえ | × |
| 96. 歯をみがくようになった。 | はい | いいえ | × |
| 97. 落ち着いて考える態度がでてきた。 | はい | いいえ | × |
| 98. 人と協力するようになった。 | はい | いいえ | × |
| 99. 動作が活発になった。 | はい | いいえ | × |
| 100. 物を大事にするようになった。 | はい | いいえ | × |
| 101. 体力がついてきた。 | はい | いいえ | × |
| 102. 入浴をよろこんでするようになった。 | はい | いいえ | × |
| 103. 風邪をひきやすくなった。 | はい | いいえ | × |
| 104. 人の世話をよくするようになった。 | はい | いいえ | × |
| 105. いろいろのものを集めるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 106. 誰でも遊び仲間に入れてやれるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 107. 友だちと協調できるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 108. うがいをするようになった。 | はい | いいえ | × |
| 109. はなをかむようになった。 | はい | いいえ | × |
| 110. ハンカチをいつもきれいにしたがるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 111. 知的に伸びてきた。 | はい | いいえ | × |
| 112. 友だちの名を覚えるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 113. 泣かないで登園できるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 114. つかれやすくなった。 | はい | いいえ | × |
| 115. 頭痛を訴えるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 116. 食事のかたづけを手伝うようになった。 | はい | いいえ | × |
| 117. ひとりで衣服を脱げるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 118. 怒りやかんしゃくを抑制できるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 119. 自己主張が強くなった。 | はい | いいえ | × |
| 120. 自分のことは自分でするようになった。 | はい | いいえ | × |

- | | | | |
|------------------------------------|----|-----|---|
| 121. 字をよんだり，書いたりするようになった。 | はい | いいえ | × |
| 122. 善悪の判断がついてきた。 | はい | いいえ | × |
| 123. 絵を描くことが上手になった。 | はい | いいえ | × |
| 124. すなおになった。 | はい | いいえ | × |
| 125. 泣くことがすくなくなった。 | はい | いいえ | × |
| 126. 手洗いができるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 127. 夜はよくねむるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 128. 手先が器用になった。 | はい | いいえ | × |
| 129. 偏食がなくなった。 | はい | いいえ | × |
| 130. バスや電車の乗り降りを順番を守ってするようになった。 | はい | いいえ | × |
| 131. おやつをきめられた時間にたべる。 | はい | いいえ | × |
| 132. 生意気になった。 | はい | いいえ | × |
| 133. 食後は静かにしている。 | はい | いいえ | × |
| 134. 残さずに食事をするようになった。 | はい | いいえ | × |
| 135. 公共心が伸びてきた。 | はい | いいえ | × |
| 136. こまかいところによく気がつく。 | はい | いいえ | × |
| 137. お使いや弟妹の世話ができるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 138. 食事はこぼさないでできるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 139. ゆずりあうことができるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 140. ひとりで，きげんよく寝るようになった。 | はい | いいえ | × |
| 141. 絵を描くことに興味をもってきた。 | はい | いいえ | × |
| 142. 歌をうたうことが上手になってきた。 | はい | いいえ | × |
| 143. 用便のあとは必ず手を洗うようになった。 | はい | いいえ | × |
| 144. 歌をうたうことが多くなった。 | はい | いいえ | × |
| 145. 数に興味をもつようになった。 | はい | いいえ | × |
| 146. 雨の日は，部屋での遊び方を工夫するようになった。 | はい | いいえ | × |
| 147. ひとりできげんよく起きるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 148. 人前ではにかまはずはっきり返事や話しができるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 149. 簡単な伝言ができるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 150. 絵本を進んでよみたがるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 151. わがままをおさえるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 152. 夜ふかしをしないで，早くねるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 153. 朝，早く眼をさますようになった。 | はい | いいえ | × |
| 154. 言葉がはっきりしてきて，幼児語が少なくなった。 | はい | いいえ | × |
| 155. 絵本を破ったりしなくなった。 | はい | いいえ | × |

- | | | | |
|-----------------------------------|----|-----|---|
| 156. お年よりに親切にふるまうようになった。 | はい | いいえ | × |
| 157. 幼稚園であったことを家庭で話すようになった。 | はい | いいえ | × |
| 158. 文字を教えてくれと言うようになった。 | はい | いいえ | × |
| 159. 母親から離れるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 160. 雨具のしまつができるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 161. 脱いだ靴は、きめられた場所にきちんとおけるようになった。 | | | |
| | はい | いいえ | × |
| 162. TVを楽しんでみるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 163. 外に遊びに行く時、家のものに告げていくようになった。 | はい | いいえ | × |
| 164. 外で遊ぶようになった。 | はい | いいえ | × |
| 165. 自分から進んで水を草花にやるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 166. 汗がでたらハンカチでふけるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 167. 飼育動物に進んで餌をやるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 168. 遊びが創造的になった。 | はい | いいえ | × |
| 169. 引込思案がなくなってきた。 | はい | いいえ | × |
| 170. 男の子(女の子)に興味を示すようになった。 | はい | いいえ | × |
| 171. 健康になった。 | はい | いいえ | × |
| 172. 整理・整頓がよくなった。 | はい | いいえ | × |
| 173. 人の意見をきくようになった。 | はい | いいえ | × |
| 174. 交通規則を守るようになった。 | はい | いいえ | × |
| 175. 箸を上手に使えるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 176. 年下の友だちとルールを守って遊べるようになった。 | はい | いいえ | × |
| 177. 社会に対して関心をもつようになった。 | はい | いいえ | × |
| 178. 集団生活になれてきた。 | はい | いいえ | × |
| 179. 四季の変化や自然の事柄に対して興味をもつようになった。 | | | |
| | はい | いいえ | × |
| 180. 言葉による表現が豊かになった。 | はい | いいえ | × |
| 181. 話しが上手になった。 | はい | いいえ | × |
| 182. 童話に関心をもつようになった。 | はい | いいえ | × |
| 183. 正義感が強くなった。 | はい | いいえ | × |
| 184. いろいろのことに興味をもつようになった。 | はい | いいえ | × |
| 185. 順番を守れるようになった。 | はい | いいえ | × |

対象

東京，神奈川，埼玉および栃木の1都3県の10幼稚園の園児2,832名を対象として父親または母親に各質問項目について「はい」，「いいえ」，

「わからない」の三件法で応答してもらった。この質問紙に対する回答率は71.43%～100%で、平均は83.76%であった。

本報告の調査項目

185項目から選んだ70項目をまず2つのグループに大別し、1つのグループは、各々20項目からなる3ブロック（基本的生活習慣、社会生活能力および知的発達）にさらに分けられた。もう1つのグループは10項目から構成されている。そして、以上の3つのブロックと10項目の各々について保育期間の差による保育効果を吟味した。

(I) 質問項目のブロック別の内訳はつぎの如くである。

ブロックA（基本的生活習慣態度）

4. ひとりで便所へいけるようになった。
11. ひとりで衣服を着れるようになった。
32. 早寝・早起きの習慣がついた。
54. 夜中に目を覚まして泣くようになった。
90. 衛生上良い習慣がついた。
96. 歯をみがくようになった。
102. 入浴をよろこんでするようになった。
108. うがいをするようになった。
109. はなをかむようになった。
110. ハンカチをいつもきれいにしたがるようになった。
117. ひとりで衣服を脱げるようになった。
126. 手洗いができるようになった。
138. 食事はこぼさないでできるようになった。
140. ひとりで、きげんよく寝るようになった。
143. 用便のあとは必ず手を洗うようになった。
147. ひとりできげんよく起きるようになった。
152. 夜ふかしをしないで、早くねるようになった。
153. 朝、早く眼をさますようになった。
166. 汗がでたらハンカチでふけるようになった。
175. 箸を上手に使えるようになった。

ブロックB（社会生活能力）

2. 友だちとよく遊ぶようになった。
22. 社会性がでてきた。

- 38. けんかの回数が多くなった。
- 50. 意地悪になった。
- 58. 交遊範囲が広がった。
- 77. 独占欲が強くなった。
- 78. 人みしりをしなくなった。
- 88. 自分の気持を抑える（自制心）ことができるようになった。
- 98. 人と協力するようになった。
- 104. 人の世話をよくするようになった。
- 106. 誰でも遊び仲間に入れてやれるようになった。
- 107. 友だちと協調できるようになった。
- 139. ゆずりあうことができるようになった。
- 148. 人前でははにかまずはっきり返事や話しができるようになった。
- 151. わがままをおさえるようになった。
- 169. 引込思案がなくなってきた。
- 173. 人の意見を聞くようになった。
- 176. 年下の友だちとルールを守って遊べるようになった。
- 177. 社会に対して関心をもつようになった。
- 178. 集団生活になれてきた。

ブロックC（知的発達）

- 3. 文字に興味をもってきた。
- 9. よく考えるようになった。
- 12. 想像力が豊かになった。
- 16. 知識欲がでてきた。
- 17. 納得するまで聞くようになった。
- 25. よく質問するようになった。
- 42. いろいろのことを覚えるようになった。
- 59. 物をよく観察するようになった。
- 79. 本に対して興味をもつようになった。
- 91. 動植物に興味をもつようになった。
- 97. 落ち着いて考える態度がでてきた。
- 105. いろいろのものを集めるようになった。
- 111. 知的に伸びてきた。
- 145. 数に興味をもつようになった。
- 150. 絵本を進んで読みたがるようになった。
- 158. 文字を教えてくれと言うようになった。
- 177. 社会に対して関心をもつようになった。

- 179. 四季の変化や自然の事柄に対して興味をもつようになった。
- 182. 童話に関心をもつようになった。
- 184. いろいろのことに興味をもつようになった。

以上の各ブロックに含まれる20項目中、保育効果があったと答えた項目数を以って各園児の得点（保育効果得点）とした。

（Ⅱ） 10項目の内訳

前述の3ブロックの項目に含まれない項目からつぎの項目を10選んだ。

- 8. 人に挨拶するようになった。
- 10. 性格が明るくなった。
- 19. 親に反抗的になった。
- 33. 一つの事を最後までするようになった。
- 41. 言葉が悪くなった。
- 43. 時間を守るようになった。
- 75. おませになった。
- 114. つかれやすくなった。
- 120. 自分のことは自分でするようになった。
- 129. 偏食がなくなった。

以上の10項目の各々について回答の頻数を保育期間別に調べた。

結 果 と 考 察

（Ⅰ） 各ブロック別

ブロック別に2,372名の被験者について各保育効果得点(0~20点)の度数を求め、全被験者を $\frac{1}{3}$ ずつになるように等分し、得点の大きいものから上中下の3グループに分けた(表1~3)。

表1~3に基づいて χ^2 検定を行った結果は表4の通りである。すなわち、基本的な生活習慣・態度の形成については、保育期間の差による保育効果は認められないが、社会生活能力および知的発達については著しい保育効果が認められる。

しかしながら、これらの結果が果たして保育期間の差によるものか、それとも年齢差によるものであるかどうかは明らかでない。そこでこの点を

表 1 基本的な生活習慣の保育期間別得点の頻数

保育期間 グループ	1 年	2 年	3 年	合 計
上 (18~20点)	522	380	21	923
中 (15~17点)	485	289	19	793
下 (0~14点)	404	242	10	656
合 計	1,411	911	50	2,372

表 2 社会生活能力の保育期間別得点の頻数

保育期間 グループ	1 年	2 年	3 年	合 計
上 (16~20点)	406	318	22	746
中 (12~15点)	491	323	20	834
下 (0~11点)	514	270	8	792
合 計	1,411	911	50	2,372

表 3 知的発達の保育期間別得点の頻数

保育期間	1 年	2 年	3 年	合 計
上 (18~20点)	408	434	33	875
中 (15~17点)	443	261	13	717
下 (0~14点)	560	216	4	780
合 計	1,411	911	50	2,372

表 4 ブロック別保育期間の差による保育効果の検定

ブロック別	P	df	x^2	有意性
基本的生活習慣	.01	4	7.116	無
社会生活能力	≧	4	23.72	有
知的発達	≧	4	118.60	有

明らかにするために保育効果得点の平均値を算出した。その結果は表5の如くである。この表によると、基本的生活習慣の形成については、1年保育1年目、2年保育2年目、3年保育3年目園児の保育効果得点の平均値にはほとんど差はないが、3年保育1年目の園児とは大きな差が認められる。しかし、有意差検定を行うと、統計的に有意差がない。

一方、社会生活能力では一年保育児と三年保育二年目の園児との差は認められない。三年保育三年目の園児とでは僅かな差がみられるが、統計的には有意ではない。また、知的発達についても、保育期間の差による保育

表 5 保育期間別保育効果得点の平均値

ブロック		基本的生活習慣	社会生活能力	知的発達
一年	保育	16.32	13.22	15.04
二年	一年目	16.60	12.66	15.11
	二年目	16.22	13.57	16.49
三年	一年目	14.98	11.55	13.93
	二年目	15.15	12.67	15.16
	三年目	16.38	14.74	17.6

効果得点の平均値には差があることが認められるが、この差は統計的には有意ではない。

つぎに年齢別の保育効果得点を質問項目ブロック別に集計しなおすと、表6～8の如くである。

表 6 基本的な生活習慣の年齢別保育効果得点の頻数

年 令 得 点	4 才	5 才	6 才	合 計
上 (18~20点)	9	374	540	923
中 (15~17点)	17	365	411	793
下 (0~14点)	18	322	316	656
合 計	44	1,061	1,267	2,372

表 7 社会生活能力の年齢別保育効果得点の頻数

年 令 得 点	4 才	5 才	6 才	合 計
上 (16~20点)	10	289	447	746
中 (12~15点)	10	377	447	834
下 (0~11点)	24	395	373	792
合 計	44	1,061	1,267	2,372

この表に基づいて x^2 検定を行うと、表9の通りである。 x^2 検定の結果、全ブロックともに年齢による有意差が保育効果に認められることがわかる。

表 8 知的発達の年齢別保育効果得点の頻数

年 令 得 点	4 才	5 才	6 才	合 計
上 (18~20点)	8	301	566	875
中 (15~17点)	13	337	367	717
下 (0~14点)	23	423	334	780
合 計	44	1,061	1,267	2,372

表 9 年齢差による保育効果の検定

ブロック別	P	df	x^2	有意性
基本的生活習慣	.005	4	222.96	有
社会生活能力	〃	4	35.58	〃
知的発達	〃	4	83.02	〃

表 10 x^2 の値

ブロック	保育期間の差	年齢の差
基本的生活習慣	7.12	222.97
社会生活能力	23.72	35.38
知的発達	118.60	83.02

表10から基本的生活習慣の形成については、年齢差による x^2 検定の値は保育期間の差によるそれよりも大きいことがわかるが、このことは基本的生活習慣形成に及ぼす年齢差の影響が強いことを示唆するものであろう。この点を確かめるためには岩田紀のように生活年齢によって matching された被験者について保育効果の検討をする必要がある⁶⁾。

社会的な生活については年齢による x^2 の値は他のブロックのそれよりも小さいが、この側面における保育効果は年齢差によるものと考えられる。また、知的発達については、 x^2 の値は保育期間の差による値の方が大きいので知的発達は保育によるものと推定される。しかしながら、このことを断定するためには、たとえば被験児群を均質化するとか、信頼性・妥当性の高い知能テストを用いるとかして、慎重を期さなければならない。

(II) 質問項目別

各項目ごとに ϕ 係数を求めたが、便宜上、「いいえ」、「わからない」を一つにまとめ、保育期間の二年目と三年目とを一つの期間にまとめて全被験者について集計した(表11)。

表 11 保育期間別被験児数一覧表

1 年 目			2 年 目		3 年 目
3 年保育	2 年保育	1 年保育	3 年保育	2 年保育	3 年保育
44	1,000	367	61	850	50
1,411			911		50
			961		
2,372					

表12の ϕ 係数はいずれも保育期間による保育効果の差を示す有意な ϕ 係数ではないが「疲れやすくなった」という項目では ϕ 係数は -0.145 で、これは「疲れなくなった」ということを示すものである。

方法論的反省と今後の課題

1) 質問項目はこれをさらに具体的に表現して応答しやすくする必要があったように思われる。また、幼稚園の教師または保育をうけた園児の両親から保育期間1年、2年、3年後に保育効果について自由に記述しても

表 12 項目別の結果

質問項目	1年目	2年目	ϕ 係数
人に挨拶するようになった	691(720)	542(419)	.073
性格が明かるくなった	1,005(406)	762(199)	.098
親に反抗的になった	734(677)	555(406)	.056
一つの事を最後までするようになった	676(735)	531(430)	.072
言葉が悪くなった	690 (721)	531(430)	.062
時間を守るようになった	701(710)	543(418)	.067
おませになった	620 (791)	496(465)	.075
疲れやすくなった	353(1,058)	126(835)	-0.145
自分のことは自分でするようになった	1,023(388)	734(227)	.043
偏食がなくなった	630(781)	462(499)	.034

らって、できるだけ沢山の項目を収集する。そして、この収集項目を K. J. 法^{7~9)}によって分類して質問項目を作成する試みがなされる必要があると考える。さらに、入園以前からすでに子どものできる行動について三件法で答え難い場合が多く、したがって、応答の仕方に一貫性がないと考えられるので、この点も改善する必要がある。

2) 上述のように、①基本的な生活習慣・態度の形成に対する保育効果は保育期間の差よりも年齢によること、②社会生活能力と知的発達では保育効果があることが明らかになったが、この所見をさらに裏づけるためには、保育経験以外の点で等質な実験群と統制群について保育効果の比較をすることが必要である。この点で、B. A. Johanssonによる就学レディネスの視点からの幼稚園教育効果の研究は¹⁰⁾参考になる。この研究は、年齢、性差、両親の社会階層、両親の教育程度および収入の点で均質な実験群と統制群との比較によって子どもの学校環境に対する社会的適応において有意差があることを明らかにしている。しかしながら、この方法による研究は実施が困難であるので、保育効果に関して同一の被験者群を縦断的に追

跡することによってこの統制群法の条件を満たすことができると考えられる。したがって、たとえば松原達哉の就学レディネス・テスト¹¹⁾をこの方法で実施して保育効果を検討することが特に興味あると思われる。

3) さらに問題点として指摘されることは、本質問紙法の実施の時期にかかわることである。本調査で、たとえば2年保育の1年目の園児といっても、その保育経験の期間はわずかに3カ月にすぎないので、この調査を第三学期末に実施すべきであったと考える。

4) 保育効果はすぐに目立つとは限らず、後年になって現われることもあるし、また、現われた保育効果がいつごろまで持続するものかも解明する長期間にわたる縦断的アプローチが必要である。

5) 実際に幼稚園でどのような保育が行われているかを知ることは、保育効果を検討する上に重要なことである。したがって、因子分析によって各実験園における保育効果の因子構造を明らかにして各園における保育にかたよりがあるかどうかを検討し、さらに、保育計画ひいては教育課程の吟味を試みる必要がある。このことが今後の一つの大きな研究課題である。

6) しかしながら、さし当ってなすべきことは未集計の115項目について保育期間の差を吟味することであろう。次報にはこのことを取扱いたいと思う。

(附記) 本調査結果の集計にご協力いただいた慶応大学文学部教育学専攻学生得能恵子、住野真知子および藤井みや子の三氏に感謝の意を表する次第である。

文 献

- 1) 守屋光雄 1965 保育心理学 誠信書房
- 2) 村山貞雄 1968 保育効果の研究 フレーベル館
- 3) 伊藤和衛 1965 学校経営の近代化入門 明治図書
- 4) 伊藤和衛 1966 教育課程の近代管理 明治図書
- 5) 安岡龍太 1969 神奈川県私立幼稚園における教育課程管理実態予備調査
第9回 関東地区私立幼稚園教員研修大会集録
- 6) 岩田紀 1969 集団保育の効果に関する心理学的研究 四国女子大学研究紀要

47~58.

- 7) 川喜田二郎 1964 パーティ学 社会思想社
- 8) 川喜田二郎 1967 発想法 中央公論社
- 9) 川喜田二郎 1970 続発想法 中央公論社
- 10) B. A. Johansson, 1970, Criteria of school readiness, Almquist & Wiksell, Stockholm.
- 11) 松原達哉 1969 就学レディネス・テスト手引 日本文化科学社